



写真提供 (公財)野口英世記念会

横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名

能見台小学校

6年

2組

名前

支滝 万智

①

私があなたを知ったとき、かけは千田札です。いつも当たり前前に使っている千田札をよく見てみると、あなたがかかれていました。何をした人なんだろう。と興味を持って私は、伝記を読むことにしました。私が一番心に残った出来事は左手に大やけどを負った事です。左手が使えず、その時は不便だったかもしれません。手術で左手が自由に動かせるようになったことに感銘を受け、医師や博士の道を歩む事を決めたとかがかれています。次に私は旧細菌検査室に行きました。ここで研究していたと思うととても不思議に感じました。私だったら正直未知の細菌と近づくのは怖いですが、でも、あなたが研究したことによつて多くの人の命が救われたと思います。本当にすごいですね。今、コロナウイルスというウイルスが世界中で広まっています。もしまだあなたが生きていたら未来はちがっていたのでしょう。私もある程度に多くの人役に立つ人になりたいです。